

国立国会図書館 調査及び立法考査局

Research and Legislative Reference Bureau
National Diet Library

DOI	10.11501/10310071
論題 Title	はしがき
他言語論題 Title in other language	Preface
著者 / 所属 Author(s)	坂田 和光 (Sakata, Kazuko) / 国立国会図書館調査及び立法考査局長 専門調査員 総合調査室主任
書名 Title of Book	ダイバーシティ (多様性) 社会の構築: 総合調査報告書 (Building a Society of Diversity: Interdisciplinary Research Project)
シリーズ Series	調査資料 (Research Materials) ; 2016-3
編集 Editor	国立国会図書館 調査及び立法考査局
発行 Publisher	国立国会図書館
刊行日 Issue Date	2017-02-28
ページ Pages	
ISBN	978-4-87582-795-5
本文の言語 Language	日本語 (Japanese)
摘要 Abstract	

*掲載論文等のうち、意見にわたる部分は、筆者の個人的見解であることをお断りしておきます。

はしがき

国立国会図書館調査及び立法考査局は、重要な国政課題について分野を横断したプロジェクトチームを編成し、多様な視点から調査・分析を行う「総合調査」を実施しております。平成28年は、「ダイバーシティ（多様性）社会の構築」をテーマに選び、現地調査、有識者からのヒアリング等を行いました。この報告書は、その調査成果を取りまとめたものです。

この報告書において取り上げる「ダイバーシティ（多様性）社会」とは、性別、国籍、年齢、障害の有無、性的指向等の属性の違いを超え、多様な立場や価値観を認め合って、各々が生き生きと働き、活躍し、生活する社会です。

このような社会の構築が最近特に注目されるようになった契機として、1つには我が国の少子高齢化の進行があります。平成27年の国勢調査では調査開始後初めて人口が減少したことが報告され、将来にわたり人口減が続くことが懸念されています。こうした状況の下で健全な社会を維持していくためには、これまで様々な属性に由来する要因により社会への参加が阻害されてきた人々が、他の人々と同様に社会に参加できる環境を整える必要があることが認識されつつあります。一方で、社会の事情にかかわらず、特定の属性を理由とした差別的取扱いを解消することは、社会への参加が阻害されてきた人々の側から求められているだけでなく、広く今日の社会の在り方として普遍の課題であると捉えられており、そのための法制度の構築が我が国を含め各国において模索されているところです。このように、ダイバーシティ（多様性）社会の構築は、現代社会の要請であると同時に、社会を構成する一人ひとりにとっての要請でもあります。

ダイバーシティ（多様性）社会の構築と一言で言っても、人々の属性に由来する差異の在り方、差異が問題となる局面等によって、それぞれ特有の課題があります。この報告書は、ダイバーシティ（多様性）社会の構築に向けた課題の多面性に留意しつつ、それらの課題の解決に向けた国内外の法制度や財政上の取組に関して論じるとともに、政治参加、企業経営、公共交通の利用、農業経営等の具体的な局面においてどのような経緯、現状及び課題があるかを考察しました。決してダイバーシティの全容を網羅したものではありませんが、このテーマが立体的な広がりを持つものであることを示すことはできたのではないかと考えております。

調査に当たっては、この分野に造詣の深い多くの研究者の方々の協力を得ることができました。

この報告書が、今後のダイバーシティ（多様性）社会の構築に向けた議論のお役に立つことを心から願うものです。

平成29年2月

調査及び立法考査局長 坂田 和光